



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年2月10日

上場会社名 櫻護謨株式会社 上場取引所 東
コード番号 5189 URL <https://www.sakura-rubber.co.jp/>
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部門統括 (氏名) 遠藤 聡 (TEL) 03-3466-2171
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績(2024年4月1日~2024年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	6,353	△2.6	△149	—	△156	—	△125	—
2024年3月期第3四半期	6,523	27.9	352	—	330	—	213	910.5

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 △32百万円(—%) 2024年3月期第3四半期 302百万円(938.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	△64.93	—
2024年3月期第3四半期	110.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	15,381	8,515	55.4
2024年3月期	17,568	8,722	49.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 8,515百万円 2024年3月期 8,722百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2025年3月期	—	0.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	60.00	60.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 配当の状況に関する注記 2024年3月期の配当金は記念配当30円を含みます。

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	△8.6	650	△42.8	630	△43.0	400	△45.5	206.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
 なお、特定子会社の異動には該当していませんが、櫻テクノ株式会社は2024年11月25日付で清算終了したため、連結の範囲から除外しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期3Q	2,024,000株	2024年3月期	2,024,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	89,358株	2024年3月期	89,358株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期3Q	1,934,642株	2024年3月期3Q	1,934,831株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書(第3四半期連結累計期間)	6
四半期連結包括利益計算書(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(当四半期連結累計期間における連結範囲の変更に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、夏場の豪雨災害などの影響があったものの、製造業では需要や生産の持ち直し、非製造業では堅調なインバウンド消費の効果により緩やかな回復基調にあります。一方、国内では慢性的な人手不足、原材料価格の高騰、金融政策の見直しに伴う金利上昇などの影響、海外では中国経済の減速や米国の追加関税措置の不透明感が増しており、先行きに対して慎重さが求められる状況で推移しております。

このような状況のもと当社グループといたしましては、引き続きお客様に満足される製品・サービスの提供により、安心・安全な社会の維持に貢献するべく事業活動を行っております。また、収益性の向上に向けた生産体制の見直し、原価構造の改善、売価の再設定、働き方の改善等の課題に取り組んでおります。

その結果として、売上高は6,353百万円（前年同期比2.6%減）、営業損失149百万円（前年同期は352百万円の営業利益）、経常損失156百万円（前年同期は330百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失125百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益213百万円）となりました。

売上高は、前年同四半期にあった消防・防災事業の大口案件が剥落し、顧客予算との関係から売上高が下期に集中する当社特有の業績傾向に戻っております。

利益面は、人件費の上昇と消防・防災事業の大口案件の剥落に加え、航空・宇宙、工業用品事業において売価の再設定が原材料価格高騰に追いつかない状況が継続しており、減益となっております。

当第3四半期連結累計期間における報告セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

<消防・防災事業>

消防ホース・消火栓ホースは、販売数量が伸びており売価の見直しも進捗したことから、売上高は増加しております。大口径ホースは、発電所向け更新案件の受注が前年同期に比べ少ないことから売上高は減少しております。資機材では、前年同期にありました前期持ち越し案件と安全対策資機材などの大口案件の販売が剥落したことから、大幅な売上高の減少となっております。なお、消防・防災事業では、顧客予算との関係から売上高は下期に集中する傾向にあります。利益面では、第3四半期では固定費を吸収できず損失計上となっております。

その結果、売上高2,823百万円（前年同期比13.6%減）、セグメント損失（営業損失）は249百万円（前年同期は38百万円のセグメント利益）となりました。

<航空・宇宙、工業用品事業>

航空・宇宙部門は、一定水準の受注残を抱え生産を進めており、前年同期に比べロケット用部品の販売が増加しているほか、第3四半期では官需大型機用部品の販売も増加しました。工業用品部門では、原油貯蔵施設向けタンクシール及び水門用止水ゴムの販売が増加しております。利益面では、原材料価格高騰の影響を受け原価率が上昇しております。とくに航空・宇宙部門では受注から納期まで長期となる案件が多く、受注契約後の原材料価格上昇分を売価へ反映させることが難しいことから減益となっております。

その結果、売上高は3,153百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益（営業利益）は314百万円（前年同期比28.1%減）となりました。

<不動産賃貸事業>

売上高は順調に推移しております。利益面では、人件費など管理費用が増加し前年同期に比べ減益となっております。

その結果、売上高は376百万円（前年同期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は88百万円（前年同期比11.8%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

① 資産

当第3四半期連結会計期間における流動資産は10,683百万円(前連結会計年度末比2,530百万円減)となりました。主として、棚卸資産が1,193百万円増加した一方、現金及び預金が675百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が3,279百万円それぞれ減少したことによるものです。また、固定資産は投資有価証券の時価評価額増加等により4,697百万円(前連結会計年度末比343百万円増)となりました。

この結果、資産合計は15,381百万円(前連結会計年度末比2,187百万円減)となりました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間における流動負債は4,498百万円(前連結会計年度末比1,987百万円減)となりました。主として、支払手形及び買掛金が1,886百万円減少したことによるものです。また、固定負債は2,366百万円(前連結会計年度末比7百万円増)となりました。

この結果、負債合計は6,865百万円(前連結会計年度末比1,980百万円減)となりました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間における純資産は8,515百万円(前連結会計年度末比206百万円減)となりました。主として、親会社株主に帰属する四半期純損失125百万円と剰余金の処分174百万円による減少が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては2024年5月13日に公表いたしました通期の連結業績予想の内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,019,236	2,343,459
受取手形、売掛金及び契約資産	6,278,686	2,999,294
電子記録債権	630,087	435,998
商品及び製品	296,867	775,181
半製品	632,077	908,111
仕掛品	1,624,616	1,806,896
原材料及び貯蔵品	606,403	863,687
その他	133,760	554,731
貸倒引当金	△6,825	△3,395
流動資産合計	13,214,909	10,683,966
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,463,404	1,400,681
土地	1,490,366	1,490,366
その他（純額）	423,205	643,128
有形固定資産合計	3,376,976	3,534,176
無形固定資産	20,387	17,464
投資その他の資産		
投資有価証券	438,926	569,484
その他	517,031	576,018
投資その他の資産合計	955,958	1,145,502
固定資産合計	4,353,322	4,697,143
資産合計	17,568,232	15,381,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,753,840	867,036
電子記録債務	779,693	619,622
短期借入金	810,000	1,060,000
1年内償還予定の社債	20,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	758,918	888,680
未払法人税等	329,896	19,331
賞与引当金	306,008	145,995
役員賞与引当金	70,000	37,500
その他	657,947	850,395
流動負債合計	6,486,303	4,498,561
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	1,238,661	1,176,041
役員退職慰労引当金	269,714	290,241
退職給付に係る負債	334,582	330,320
資産除去債務	13,446	13,678
その他	403,195	456,371
固定負債合計	2,359,599	2,366,652
負債合計	8,845,903	6,865,214
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	7,833,173	7,533,435
自己株式	△174,407	△174,407
株主資本合計	8,450,197	8,150,458
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	197,147	286,486
退職給付に係る調整累計額	74,984	78,950
その他の包括利益累計額合計	272,132	365,437
純資産合計	8,722,329	8,515,895
負債純資産合計	17,568,232	15,381,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
売上高	6,523,072	6,353,401
売上原価	4,872,862	5,038,936
売上総利益	1,650,210	1,314,465
販売費及び一般管理費	1,297,964	1,464,341
営業利益又は営業損失(△)	352,245	△149,875
営業外収益		
受取利息	7	117
受取配当金	10,687	12,515
受取地代家賃	11,509	11,932
貸倒引当金戻入額	2,534	3,430
その他	5,076	5,332
営業外収益合計	29,816	33,328
営業外費用		
支払利息	28,225	30,101
社債利息	434	519
為替差損	12,859	7,706
社債発行費	2,859	-
その他	7,210	1,174
営業外費用合計	51,590	39,501
経常利益又は経常損失(△)	330,472	△156,049
特別損失		
固定資産除売却損	1,716	26,950
特別損失合計	1,716	26,950
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	328,755	△182,999
法人税、住民税及び事業税	59,572	22,188
法人税等調整額	55,551	△79,567
法人税等合計	115,123	△57,378
四半期純利益又は四半期純損失(△)	213,631	△125,620
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	213,631	△125,620

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	213,631	△125,620
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	74,817	89,339
退職給付に係る調整額	13,624	3,965
その他の包括利益合計	88,442	93,304
四半期包括利益	302,073	△32,315
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	302,073	△32,315
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	3,266,103	2,883,340	77,940	6,227,384	—	6,227,384
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	3,266,103	2,883,340	77,940	6,227,384	—	6,227,384
その他の収益	—	—	295,688	295,688	—	295,688
外部顧客への売上高	3,266,103	2,883,340	373,628	6,523,072	—	6,523,072
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,266,103	2,883,340	373,628	6,523,072	—	6,523,072
セグメント利益	38,400	437,252	100,187	575,840	△223,594	352,245

(注) 1 セグメント利益の調整額△223,594千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	消防・防災 事業	航空・宇宙、 工業用品事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高						
一時点で移転される財	2,823,532	3,153,025	74,818	6,051,376	—	6,051,376
一定の期間にわたり移転される財	—	—	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,823,532	3,153,025	74,818	6,051,376	—	6,051,376
その他の収益	—	—	302,024	302,024	—	302,024
外部顧客への売上高	2,823,532	3,153,025	376,843	6,353,401	—	6,353,401
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,823,532	3,153,025	376,843	6,353,401	—	6,353,401
セグメント利益又は損失 (△)	△249,703	314,354	88,406	153,057	△302,933	△149,875

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△302,933千円には、各報告セグメントに配分されていない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における連結範囲の変更に関する注記)

連結子会社であった櫻テクノ株式会社は、2024年11月25日付で清算終了いたしましたので、当第3四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	189,757千円	216,331千円